

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

(安城駅都市拠点地区)

令和3年2月

愛知県安城市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	拠点施設利用者数 (都市機能の集約効果)	人／年	401,400	445,000	1,105,716	確定		○	あり	○	1,203,127	R2年3月31日	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)内に「図書情報館」や「ほっとスペース(つどいの広場)」など様々な機能が集約されたことで、利便性や来訪意欲の向上から年間利用者数の大幅な増加につながったと考える。
						見込み	○	なし							
指標2	安全・安心生活エリア カバー率 (都市基盤の再編効果)	%	68.0	88.7	94.2	確定		○	あり	○	94.2	R2年3月31日	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の進捗により公共施設整備が着実に進捗したことで、災害に対する都市機能及びマチナカ居住機能集積区域の安全性が確保され、安全・安心生活エリアが拡大したと考える。
						見込み	○	なし							
指標3	コミュニティバス利用者数 (中心市街地の人の集積・交流)	人／年	83,700	98,000	114,826	確定		○	あり	○	106,240	R2年3月31日	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市計画道路の整備や土地区画整理事業によりマチナカ居住の適正誘導を図る基盤整備が進捗するとともに、中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)や子ども発達支援センターの整備等による都市機能の集約や、公園の整備・リニューアル等により、コミュニティバスの年間利用者数が増加したと考える。
						見込み	○	なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・ 確定の別		達成度	1年以内の 達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標 1	図書情報館の利用者 数	人/年	389,604		784,302	確定				759,416	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	新たに加わった複合的な機能を含めた施設利用 者のみならず、図書情報館利用者数を確認するこ とで、都市機能を集約した結果、相乗的に図書情 報館利用者数が上昇し、中心市街地における賑 わいに寄与しているものとする。
その他の 数値指標 2	図書貸出冊数	冊/年	1,825,644		2,178,256	確定				2,168,257	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	図書館本来の機能である貸出冊数を図書情報館 利用者数とあわせて確認することで、図書情報館 利用者数が上昇していることを補足的に説明する ことができる。
その他の 数値指標 3	交流・多目的スペース 利用回数	回/年	4,021		5,337	確定				5,770	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市機能を集約したことで利便性が向上し、交 流・多目的スペースの利用者数の増加に寄与して いるものとする。また、交流・多目的スペースの 利用者が拠点施設やその周辺の施設等を利用す ることで、中心市街地における賑わいに寄与して いるものとする。
その他の 数値指標 4	交流・多目的スペース 催事実施件数	回/年	654		1,919	確定				2,260	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市機能を集約したことで利便性が向上し、交 流・多目的スペースでの催事回数の増加に寄与し ているものとする。また、催事参加者が拠点施 設やその周辺の施設等を利用することで、中心市 街地における賑わいに寄与しているものとする。
その他の 数値指標 5	都市機能誘導区域内 の都市機能の密度	%	64.0		90.5	確定				90.5	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	拠点施設の整備及び都市基盤整備の進捗によ り、都市機能誘導区域内の都市機能の増加に寄 与しているものとする。
その他の 数値指標 6	幹線道路の寄与率 (寄与率(%)は、各土地 画整理事業の全区域に占 める面積割合を示している)	%	7.47(南明第一) 74.59(南明第 二)		46.73(南明第 一) 78.03(南明第 二)	確定				46.73(南明第一) 78.03(南明第二)	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	幹線道路、区画道路、公園それぞれの整備が着 実に進捗したことにより、マチナカ居住を誘導で きる、災害に強く、安心して快適なコンパクトシ ティ型都市基盤が整備されてきたものとする。
その他の 数値指標 7	区画道路の寄与率 (寄与率(%)は、各土地 画整理事業の全区域に占 める面積割合を示している)	%	23.08(南明第 一) 49.37(南明第 二)		64.85(南明第 一) 58.05(南明第 二)	確定				64.85(南明第一) 58.05(南明第二)	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	幹線道路、区画道路、公園それぞれの整備が着 実に進捗したことにより、マチナカ居住を誘導で きる、災害に強く、安心して快適なコンパクトシ ティ型都市基盤が整備されてきたものとする。
その他の 数値指標 8	公園の寄与率 (寄与率(%)は、各土地 画整理事業の全区域に占 める面積割合を示している)	%	0(南明第一) 0(南明第二)		6.61(南明第一) 45.42(南明第 二)	確定				6.61(南明第一) 45.42(南明第二)	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	幹線道路、区画道路、公園それぞれの整備が着 実に進捗したことにより、マチナカ居住を誘導で きる、災害に強く、安心して快適なコンパクトシ ティ型都市基盤が整備されてきたものとする。
その他の 数値指標 9	地区内排水路の整備 率 (整備率(%)は、各土地 画整理事業の雨水排水路 について全計画に占める整 備済みの延長割合を示して いる)	%	19.1(南明第一) 98.7(南明第二)		70.6(南明第一) 100(南明第二)	確定				71.4(南明第一) 100(南明第二)	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地画整理事業の着実な進捗と、あわせて雨 水排水路の整備が行われることにより、地区内の マチナカ居住を誘導できる、災害に強く、安心で快 適なコンパクトシティ型都市基盤に寄与しているも のとする。
その他の 数値指標 10	居住誘導区域(マチナ カ居住誘導区域)内 の人口密度	人/ha	96.9		97.8	確定				97.7	R2年3月31日		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市機能を集約した拠点施設の整備や災害に強 く、安心して快適なコンパクトシティ型都市基盤への 再編を進めたことで、居住誘導区域内の人口密度 の増加につながり、マチナカ居住の誘導に寄与し ているものとする。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市民が交流できる、安心で快適な、賑わいあふれる 中心市街地の形成	利用者アンケート調査 ・図書情報館施設の利用者満足度アンケートを実施(令和元 年9月) 運営体制の定期的な確認 ・安城市行政評価システムにより年度ごとにアンフォーレ課事 務事業の事務事業評価を実施 PR活動 ・公式ホームページを中心とした広報活動や、安城ARナビの運 用、イベントの実施等により積極的に周知 イベントの開催 ・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)のエントランスや ホールを利用した各種ライブや上映会、ホコ天きーぼー市と連 動した秋の安城いいもん市などイベントの開催を定期的を実施 ・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)の願いごと広場に て、地元飲食店の弁当を販売する「アンジョウウィーツ」を令和2年 6月～8月の毎週月曜日に開催	・アンケート調査で図書情報館の施設・職員につ いて、13の項目の満足度を5点満点で回答。サー ビス全般の満足度および項目全体の平均値は平 成30年よりアップしたが、一部では評価が下が った項目もあった。(令和元年度) ・事務事業評価では、新型コロナ流行の影響で目 標値を達成できなかった項目はあるものの、適正 な管理運営が確認された。(令和元年度) ・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)貸ス ペース利用:2,260件(前年比341件増)(令和元年 度) 【アンフォーレ課提供資料】 ・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)入館 者数 ・開館から令和2年3月末までの累計入館者数 アンフォーレ本館:3,431,252人 図書情報館:2,306,720人 ・令和元年10月にアンフォーレ本館入館者300万 人達成、図書情報館入館者200万人達成 【アンフォーレ課提供資料】 ・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)が 「Library of the Year 2020」オーディエンス賞・優 秀賞を受賞(令和2年11月)	・中心市街地拠点施設(愛称:アンフォーレ)では新型コロナウイルス感染症緊 急事態宣言解除後の令和2年6月以降、館内の換気・消毒、職員や利用者のマ スク着用や手指消毒などの感染症対策を実施しながらイベントや交流多目的ス ペースの貸し出しを再開。また図書情報館では上記の感染症予防対策に加え て「安城市電子図書館」で提供する電子書籍コンテンツを大幅に追加し、ナビ ゲーションアプリサービス「安城ARナビ」に市内のテイクアウト可能な店舗を掲 載するなど、コロナ禍におけるまちの活性化促進の方策に取組む等、情報技術 を活用して市民へのPRに努めている。今後も引き続き新型コロナウイルス感染 症対策を実施しながら施設利用率の向上を図り、中心市街地の賑わいづくりに 貢献していく。
	災害に強く、安心で快適な、コンパクトシティ型都市基 盤の再編	都市再生区画整理事業(安城南明治第一土地区画整理事 業) ・公園整備事業(すえひろ公園) 住宅市街地総合整備事業 ・老朽住宅等の除去 ・追田川ブルームナード整備	・すえひろ公園の供用開始(令和2年3月31日) 【南明治区画整理ニュースvol53】 ・建物除去戸数10戸(令和元年度) ・道路築造延長80m(令和元年度) 【南明治整備課資料】	・引き続き、老朽住宅の除去や追田川ブルームナードの整備等を実施し、まちの 安全性を高め、居住環境の向上を進める。
	既存ストックの活用	保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関との連携体制の 構築 ・子どもの発達支援に関わる業務を行う他の機関に、子ども発 達支援センターの職員が出向き、支援業務のサポートを実施 あんステップの利用について関係機関への周知活動 ・学齢期支援事業(SST教室)の開催(令和元年9月から計6 回) ・専門職向け研修会開催(令和2年2月) ・他機関との連携業務(1歳6か月児健康診査、3歳児健康診 査、発達心理相談、体験交流保育) 地域への周知活動 ・第1回あんステップまつり開催(令和元年7月) ・広報あんじょうへの定期的な掲載(令和元年度) 【安城市子ども発達支援センター事業報告】	・あんステップ利用実績 令和元年度 発達相談件数:3,240件、就学相談:126人 学齢期支援事業(SST教室)参加者:32人 専門職向け研修会参加者:87人 ・第1回あんステップまつりの来場者数:300人、協 力団体:12団体 【安城市子ども発達支援センター事業報告】 ・広報あんじょうに「あんステップにおいてよ」連載 (令和元年度年4回掲載) 【広報あんじょう】	・今後も利用者の声を聴きながら、市民が安心して集い快適に利用できる場所 を目指していく。 【事務事業評価シート 令和元年度実施分 子ども発達支援課】

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地内の商業経営者等の後継者不足・高齢化対策	都市再生区画整理事業(安城南明治第一土地区画整理事業) 住宅市街地総合整備事業 立地適正化計画の周知 ・第三次安城市都市計画マスタープラン(立地適正化計画を含む)を公表。併せて「マチナカ拠点形成やマチナカ居住誘導に向けた届出制度」について説明したパンフレットをコンパクト版と詳細版の2種作成し、HPに掲載(平成31年2月1日) 安城南明治市有地有効活用事業 ・安城南明治第一土地区画整理事業第28街区において、優良建築物等整備事業制度を活用し、民間による都市拠点の形成を進める	・「マチナカ拠点形成やマチナカ居住誘導に向けた届出制度」の実施を継続、コンパクトな都市構造の形成への理解を促した。 ・安城南明治第一土地区画整理事業の第28街区に、住宅、オフィス、ホテル、商業施設が複合した民間による誘導施設「DENCITY(デンシティ)」着工(令和元年7月着工) 【令和2年度安城市総合計画審議会資料_チャレンジ事業(前年実績)、区画整理ニュースvol49】	・区画整理事業の進捗により居住環境の改善と防災機能の向上を引き続き実施するとともに、取得した市有地を集約して有効活用を図り、まちの拠点形成をさらに推進していく。 【事務事業評価シート 令和元年度実施分 南明治整理課】
	都市のスプロール化	都市再生区画整理事業(安城南明治第一土地区画整理事業) 住宅市街地総合整備事業 立地適正化計画の周知	・安城南明治第一土地区画整理事業の事業進捗 建物移転戸数27戸(家屋移転率91.1%) 道路築造延長331m(道路築造率:67.8%) ・誘導施設「DENCITY(デンシティ)」着工(令和元年7月着工) 【南明治整備課資料】	・引き続き「マチナカ拠点形成やマチナカ居住誘導に向けた届出制度」を周知していくことにより、コンパクトシティ型都市基盤の再編を推進する。 ・安城南明治第一土地区画整理事業及び住宅市街地総合整備事業の令和8年度完了を目指し、事業推進を図っていく。 ・地区外に延伸する道路を土地区画整理事業と一体的に整備し、区画整理事業の整備効果を高め、都市機能及び居住誘導を図る。
	人口増加・高齢化に対応した都市機能及び居住の誘導	都市再生区画整理事業(安城南明治第一土地区画整理事業) 住宅市街地総合整備事業 立地適正化計画の周知 優良建築物等整備事業	・安城南明治第一土地区画整理事業の事業進捗 建物移転戸数27戸(家屋移転率91.1%) 道路築造延長331m(道路築造率:67.8%) ・誘導施設「DENCITY(デンシティ)」着工(令和元年7月着工) 【南明治整備課資料】	・引き続き「マチナカ拠点形成やマチナカ居住誘導に向けた届出制度」を周知していくことにより、コンパクトシティ型都市基盤の再編を推進する。 ・誘導施設「DENCITY(デンシティ)」令和4年3月竣工を目指す。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
区画整理事業地区外事業との連動	(都)南安城横山線の道路改築	R3～	区画整理事業地区外において、隣接する都市計画道路の改築を同時期に実施することによって事業費用の削減や事業効果を高めることができる。
市民協創のまちづくり	三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト	R2～	引き続き、歩いて暮らせるコンパクトシティ型の都市基盤整備を進めるとともに、民間と協力し、まちをつかう試みを行うことで、まちのにぎわいづくりに貢献していく。